

深田塾 実力チェック模試(49問)

必修25問・一般12問・状況設定12問 目安時間60分

まずは答えを見ずに解いてください。マークシートに名前を書き、写真を撮って深田塾の公式LINEに送ってから、最後のページの答えと解説で確認してください。

必修問題(問1～問25)

問1 成人の安静時の正常な呼吸数(1分間)はどれか。

1. 6～8回 2. 12～20回 3. 24～30回 4. 32～40回

問2 成人の安静時の正常な脈拍数(1分間)はどれか。

1. 40～50回 2. 60～100回 3. 110～130回 4. 140～160回

問3 日本の高血圧の基準(診察室血圧)はどれか。

1. 120/80mmHg以上 2. 130/85mmHg以上 3. 140/90mmHg以上 4. 160/100mmHg以上

問4 WHO憲章の健康の定義に含まれないのはどれか。

1. 身体的 2. 精神的 3. 社会的 4. 経済的

問5 母子健康手帳の交付を定めている法律はどれか。

1. 母子保健法 2. 児童福祉法 3. 母体保護法 4. 健康増進法

問6 看護師の守秘義務を定めている法律はどれか。

1. 医療法 2. 保健師助産師看護師法 3. 地域保健法 4. 介護保険法

問7 介護保険の第1号被保険者はどれか。

1. 40歳以上 2. 60歳以上 3. 65歳以上 4. 75歳以上

問8 成人の1日の正常な尿量はどれか。

1. 100mL 2. 1,000～1,500mL 3. 3,000～4,000mL 4. 5,000mL以上

問9 血液中で酸素を運ぶのはどれか。

1. アルブミン 2. フィブリノゲン 3. ヘモグロビン 4. グロブリン

問10 インスリンを分泌するのはどれか。

1. 膵島A(α)細胞 2. 膵島B(β)細胞 3. 膵島D(δ)細胞 4. 膵腺房細胞

問11 胆汁をつくる臓器はどれか。

1. 胆嚢 2. 肝臓 3. 膵臓 4. 十二指腸

問12 ジャパン・コーマ・スケール(JCS)で、III-300の状態はどれか。

1. 呼びかけで開眼する 2. 痛み刺激で開眼する 3. 痛み刺激に手で払いのける動作をする 4. 痛み刺激に全く反応しない

問13 標準予防策で、感染の可能性があるものとして扱わないのはどれか。

1. 血液 2. 汗 3. 尿 4. 喀痰

問14 主に経口感染するのはどれか。

1. B型肝炎 2. A型肝炎 3. HIV感染症 4. C型肝炎

問15 成人の一次救命処置で、胸骨圧迫のテンポ(1分間)はどれか。

1. 60～80回 2. 100～120回 3. 140～160回 4. 180～200回

問16 成人の胸骨圧迫の深さはどれか。

1. 約2cm
2. 約5cm
3. 約8cm
4. 約10cm

問17 仰臥位で褥瘡ができやすい部位はどれか。

1. 前頭部
2. 仙骨部
3. 膝蓋部
4. 腹部

問18 筋肉内注射に用いる部位はどれか。

1. 三角筋
2. 前腕内側
3. 手背
4. 足背

問19 低血糖の症状はどれか。

1. 多尿
2. 口渇
3. 冷汗
4. 皮膚の乾燥

問20 骨髄抑制が起こりやすい薬はどれか。

1. 抗癌薬
2. 整腸薬
3. 去痰薬
4. ビタミン剤

問21 ワルファリンを飲んでいる人が控える食品はどれか。

1. 豆腐
2. 納豆
3. 牛乳
4. りんご

問22 乳児の体重が出生時の約2倍になる時期はどれか。

1. 生後1か月
2. 生後3～4か月
3. 生後1年
4. 生後2年

問23 更年期に分泌が減るホルモンはどれか。

1. エストロゲン
2. 卵胞刺激ホルモン(FSH)
3. 黄体形成ホルモン(LH)
4. 甲状腺刺激ホルモン

問24 喀血の特徴はどれか。

1. 暗赤色
2. コーヒー残渣様
3. 鮮紅色で泡を含む
4. 食べ物のかすを含む

問25 ショック状態の人に、まずとる体位はどれか。

1. 腹臥位
2. 仰臥位で下肢を挙上する
3. 起坐位
4. 頭部を挙上した側臥位

一般問題(問26～問37)

問26 心不全で呼吸が苦しい人が楽になる体位はどれか。

1. 仰臥位
2. 腹臥位
3. 起坐位
4. 頭低位

問27 糖尿病の三大合併症に含まれないのはどれか。

1. 網膜症
2. 腎症
3. 神経障害
4. 肝硬変

問28 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の人にすすめる呼吸法はどれか。

1. 口すぼめ呼吸
2. 速く浅い呼吸
3. 息止め
4. 胸式の浅い呼吸

問29 保存期の慢性腎臓病で、制限することが多い栄養素はどれか。

1. 炭水化物
2. たんぱく質
3. ビタミンC
4. 食物繊維

問30 手術後の早期離床で、予防する主な合併症はどれか。

1. 深部静脈血栓症
2. 白内障
3. 甲状腺機能低下症
4. 鉄欠乏性貧血

問31 骨粗鬆症の高齢者が転倒で起こしやすい骨折はどれか。

1. 頭蓋骨骨折
2. 大腿骨頸部骨折
3. 鎖骨骨折
4. 膝蓋骨骨折

問32 パーキンソン病の症状はどれか。

1. 安静時振戦
2. 弛緩性麻痺
3. 感覚の消失
4. 黄疸

問33 統合失調症の陽性症状はどれか。

1. 感情の平板化
2. 意欲の低下
3. 幻聴
4. 自閉

問34 正期産の時期はどれか。

1. 妊娠22週0日～36週6日
2. 妊娠37週0日～41週6日
3. 妊娠42週0日以降
4. 妊娠20週0日～30週6日

問35 乳児の脱水で観察されるのはどれか。

1. 大泉門の膨隆
2. 大泉門の陥没
3. 尿量の増加
4. 体重の増加

問36 認知症の中核症状はどれか。

1. 徘徊
2. 記憶障害
3. 妄想
4. 暴言

問37 地域包括支援センターを設置するのはどれか。

1. 国
2. 都道府県
3. 市町村
4. 医療機関

状況設定問題(問38～問49)

事例A

Aさん(75歳、男性)は心不全が悪化して入院した。両足にむくみがあり、3日で体重が2kg増えた。

問38 Aさんの観察で最も大切なのはどれか。

1. 毎日同じ条件で体重を測る
2. 1週間に1回だけ体重を測る
3. 食後すぐに体重を測る
4. 体重は退院前だけ測る

問39 Aさんへの食事指導で適切なのはどれか。

1. 塩分を控える
2. 水分をたくさんとる
3. たんぱく質を極端に減らす
4. 漬物を毎食とる

問40 Aさんの退院指導で、すぐに受診すべき症状として伝えるのはどれか。

1. 数日で体重が2kg以上増えた
2. 食欲がいつも通り
3. 夜よく眠れた
4. 便が毎日出る

事例B Bさん(55歳、女性)は2型糖尿病で、インスリンの自己注射を始めることになった。

問41 注射の方法で適切なのはどれか。

1. 毎回まったく同じ場所に打つ
2. 腹部などで毎回少しずつ場所をずらす
3. 筋肉に深く打つ
4. 打ったあと強くもむ

問42 低血糖になったときの対応で適切なのはどれか。

1. ブドウ糖をとる
2. 様子を見て寝る
3. インスリンを追加で打つ
4. 水だけを飲む

問43 風邪で食事がとれない日(シックデイ)の指導で適切なのはどれか。

1. 自己判断でインスリンをやめる
2. 水分をとり、主治医に連絡して指示を受ける
3. 何も食わずに我慢する
4. いつもの倍のインスリンを打つ

事例C Cちゃん(3歳、男児)は気管支喘息の発作で入院した。

問44 呼吸が楽になる体位はどれか。

1. 仰臥位
2. 腹臥位
3. 起坐位(上体を起こす)
4. 頭低位

問45 発作の悪化を示すサインはどれか。

1. 陥没呼吸
2. 声を出して笑う
3. 普通に食事ができる
4. よく眠れている

問46 退院時、母親への指導で適切なのはどれか。

1. ダニやほこりを減らすため、こまめに掃除する
2. 布団は干さない
3. めいぐるみをたくさん置く
4. 室内で喫煙してもよい

事例D Dさん(80歳、女性)は大腿骨頸部骨折で、人工骨頭置換術(後方アプローチ)を受けた。

問47 脱臼を防ぐために避ける動作はどれか。

1. 低い椅子に深く座る
2. 高めの椅子に座る
3. 足を軽く開いて寝る
4. 外転枕を使う

問48 手術後に注意する深部静脈血栓症のサインはどれか。

1. 片足の腫れと痛み
2. 手のしびれ
3. 目のかゆみ
4. 声のかすれ

問49 術後せん妄の予防で適切なのはどれか。

1. 昼間も部屋を暗くして寝させる
2. 日中は活動し、昼と夜のリズムをつける
3. 時計やカレンダーを片付ける
4. 家族の面会を控える

解答と解説

問	正解	解説
1	2	成人は1分間に12～20回。
2	2	60～100回。100回を超えると頻脈、60回未満は徐脈。
3	3	140/90mmHg以上が高血圧。
4	4	身体的・精神的・社会的に満たされた状態。経済的は含まれない。
5	1	妊娠を届け出ると、市町村が母子健康手帳を交付する(母子保健法)。
6	2	保健師助産師看護師法で定められている。
7	3	65歳以上が第1号、40～64歳が第2号。
8	2	1,000～1,500mL。100mL以下は無尿、400mL以下は乏尿。
9	3	赤血球のヘモグロビンが酸素と結びつく。
10	2	B(β)細胞がインスリン、A(α)細胞がグルカゴン。
11	2	肝臓でつくり、胆嚢でためて濃くする。
12	4	III-300は痛み刺激に全く反応しない状態。
13	2	汗は除く。血液・体液・排泄物・分泌物は感染の可能性があるものとして扱う。
14	2	A型肝炎は食べ物や水から。B型・C型・HIVは血液や体液から。
15	2	1分間に100～120回。
16	2	約5cm(6cmを超えない)。
17	2	仰臥位では仙骨部が一番多い。
18	1	三角筋や中殿筋。前腕内側は皮内注射。
19	3	冷汗・手のふるえ・動悸など。多尿や口渇は高血糖。
20	1	抗癌薬は白血球などをつくる骨髄の働きを抑える。
21	2	納豆のビタミンKが、ワルファリンの効き目を弱める。
22	2	3～4か月で約2倍、1年で約3倍。
23	1	エストロゲンが減る。FSHとLHは逆に増える。
24	3	喀血は肺から出るので鮮紅色で泡まじり。暗赤色やコーヒ一残渣様は吐血。
25	2	足を上げて、心臓や脳に血液を戻す。
26	3	上体を起こすと肺のうっ血がやわらぎ、呼吸が楽になる。
27	4	三大合併症は網膜症・腎症・神経障害。
28	1	口をすぼめてゆっくり吐くと、気道がつぶれにくくなる。
29	2	腎臓の負担を減らすため、たんぱく質を制限することが多い。

問	正解	解説
30	1	足を動かして血の流れを保ち、血栓を防ぐ。
31	2	高齢者の転倒では大腿骨頸部骨折が多い。
32	1	安静時振戦・筋固縮・無動・姿勢反射障害が4大症状。
33	3	幻覚・妄想が陽性症状。感情の平板化・意欲低下・自閉は陰性症状。
34	2	37週0日～41週6日。それより前は早産、42週以降は過期産。
35	2	脱水では大泉門がへこむ。膨隆は頭の中の圧が高いとき。
36	2	記憶障害などが中核症状。徘徊・妄想・暴言は行動・心理症状(BPSD)。
37	3	市町村が設置する(委託もできる)。
38	1	むくみ(体液のたまり)は体重の変化で分かる。同じ時間・同じ条件で測る。
39	1	塩分は体に水をためるので控える。
40	1	急な体重増加は心不全悪化のサイン。
41	2	同じ場所に打ち続けると皮膚が硬くなり、効きが悪くなる。
42	1	ブドウ糖(または糖分の入った飲み物)ですぐ血糖を上げる。
43	2	自己判断で中止や増量はしない。水分をとり、主治医の指示を受ける。
44	3	上体を起こすと横隔膜が下がり、呼吸が楽になる。
45	1	陥没呼吸は呼吸が苦しくなっているサイン。
46	1	ダニやほこりは発作の原因になりやすい。
47	1	後方アプローチでは、股関節を深く曲げる・内側にひねる姿勢で脱臼しやすい。
48	1	片足の腫れ・痛み・赤み。肺塞栓につながるので早く気づく。
49	2	昼夜のリズムを整える。時計やカレンダー、家族の面会は安心につながる。